科目名 Subject	メイクアップⅢ Make-upⅢ		教員名	メイクチーム	
開講年次	2	開講時期	前期	単位	1
必修／選択	選択	授業形態	実習	時間	30
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	△	◎	○	◎
科目の概要	専門的なプロのメイクアップ技術・知識を学ぶ。ファッションショー、映像撮影、化粧品販売、等の現場で使えるテクニックを各専門分野の教員が指導し、常に新しい技術と情報を取り入れた授業内容を展開する。デモンストレーションによる展示または資料写真を参考に相モデルでメイクアップ作品を制作する。				
授業の目標	プロフェッショナルなメイクアップアーティストが様々な現場で求められるテクニックと知識を身につける。全ての年代の女性を美しく見せるメイクアップが表現できる。目指すイメージを具体的にメイクアップで表現できる。その人の性格や好み、生活を理解し、その人に似合うメイクアップを提供できる知識、技術を表現できるようになる。				
時間外学習 （予習・復習）	タブレットに教員作成の資料が事前に送られる。各回の授業前にそれらを読み授業の内容、意味を理解しておく。授業終了後には課題が出されることがあるため自宅でデッサンや、タブレットで撮影した顔写真を指定された様式に添付し作品課題として提出する。また各回の講義内容を自宅で復習し、次回の授業に向けた準備とする。予習と復習、課題制作、撮影作品制作準備に必要な時間数は合計で約１５時間である。				
教科書・教材	教科書	教員作成資料			
	教材	洗顔料、タオル、ティッシュ、コットン、綿棒。			
	使用設備・備品	なし			
	参考文献	なし			
評価方法	作品制作３５％、小課題３５％、平常点３０％				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	レポートに対して、コメントを返します。				
	作品制作の要点について解説を行います。				
履修上の注意	提出課題は作品のデッサンと写真を提出してもらいます。やむを得ず欠席した場合は各自で作品制作を行い提出してください。				
本科目履修と関連する資格	資格名	なし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	動画撮影のメイクアップに関する知識を学ぶ。	写真撮影との手法の違いを理解できる。	講義内容を自宅で復習。
第２回	動画撮影のメイクアップに関する技術を学ぶ。	プロモーションビデオ用のメイクアップを表現できる。	講義内容を自宅で復習。
第３回	ライブステージ用メイクアップの知識を学ぶ。	コンサート、ミュージカル等、バックステージでのメイクアップに必要な知識を理解する。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第４回	ライブステージ用メイクアップの技術を学ぶ。	コンサート、ミュージカルのメイクアップが表現できる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。授業内で撮影した写真を課題として提出。
第５回	海外の春夏メイクアップトレンドを学ぶ。	パリ、ロンドン、ＮＹ等のメイクアップトレンドが理解できる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第６回	海外のファッションショーでトレンドになった春夏メイクアップスタイルを模写する。	海外でのファッションショーで必要な技術を習得できる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。授業内で撮影した写真を課題として提出。
第７回	モンスターの特殊メイクアップの手法を学ぶ。	映画撮影などで求められるメイクアップ知識を理解する。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第８回	ゾンビの特殊メイクアップの手法を学ぶ。	ゾンビの特殊メイクアップを表現できる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。授業内で撮影した写真を課題として提出。
第９回	あざ、傷の特殊メイクアップの手法を学ぶ。	特殊メイクに必要な道具を理解する。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第１０回	火傷の特殊メイクアップの手法を学ぶ。	様々な特殊メイクアップが表現できる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。授業内で撮影した写真を課題として提出。
第１１回	化粧品業界について学ぶ。	化粧品会社でのメイクアップアーティスト、美容部員の役割について理解できる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第１２回	化粧品のトレンドについて学ぶ。	最新の化粧品を使いこなすことが出来るようになる。	事前にタブレットに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。授業内で撮影した写真を課題として提出。
第１３回	作品制作のリハーサルを行う。	作品制作に向けチーム内で意見を出し合い、メイクアップに反映できる。	作品制作本番に向け最終調整を行う。
第１４回	作品コンセプトの発表を行う。	チームごとに作品のコンセプトを発表できる。	作品制作本番に向け最終調整を行う。
第１５回	作品制作を行う。	学内のスタジオで撮影できる高度な作品制作の技術を表現できる。	撮影した写真をデジタルポートフォリオとして保存する。